

---

君へ

ira

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君へ

### 【Zコード】

Z95870

### 【作者名】

i r a

### 【あらすじ】

いつかあなたも、体験するかもしれない切ないお話です。

- \* このお話は手紙のようになっています。
- \* 会えなくなってしまった大好きな人にむけての手紙です。

## ～私目線～（前書き）

初めまして！

初めてお話を投稿します。iraです。  
まだまだ未熟者ですので、たくさん  
駄目だし感想を受け付けております。  
これから、よろしくお願ひします。

## ～私目線～

君のちょっと高い声が好きでした。

君の大きな優しい手が好きでした。

君の温厚な性格が好きでした。

まだまだ言い切れないくらい好きなところがたくさんあります。

けど、どれ一つとして伝えることができなかつた。

もしあのとき、この気持ちを素直に君に伝えていたら何か変わつて  
いたかな？

でももし、あのときにもどれたとしても、私はまた何も言はずに終  
わつてしまつと思つ。

だつて君は・・・君にはもう心のなかで思つてゐる人がいたから。  
その思つてゐる人と君は両思いだつたりして  
とても私が割り込みして、君をかっさらつていふことなんてできな  
いと思つたから。

でも私はきづいていなかつた。

君が本当に思つていた人が私だつたでいいことに・・・。

本当にバカだよね。

君はあんなにも私に違うつていつてくれたのに。

温厚な君からは想像できないくらい、声を荒げて伝えてくれたのに。  
それは同情だつて勝手に思い込んで、たくさんたくさん君を傷つけ  
て・・・。

ごめんね。

君を失つて初めてきずいたよ。

こんなにも私の心は君におぼれていたつていうことに。  
好き、好き、大好きでたまらないよ。

こんなにも伝えたい思いはたくさんあるのこ。

伝えたいのに。

おかしいね。

あの時にもどれても、絶対何もいえないのに、  
今になつたら伝えたくて、伝えたくてたまらないよ。

これが成長したって事なのかなあ？

だったらもつと早く成長したかったな。

バカで鈍くて、心が小さくてごめんね。  
大好きだよ。

君へ · END ·

～私目線～（後書き）

どうだったでしょうか？  
感動していただけたら幸いです。  
これから、続編も書いていくので、  
どうかよろしくお願ひします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9587o/>

---

君へ

2010年11月19日16時30分発行